第 145 回日商簿記 2 級　第 1 問　仕訳問題類題　問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	普通預金	受取手形
諸資産	営業外受取手形	未収入金	仕掛品
のれん	満期保有目的債券	備品	支店
前払利息	その他有価証券	諸負債	本店
前受金	未払金	営業外支払手形	資本金
資本準備金	利益準備金	その他資本剰余金	繰越利益剰余金
役務収益	負ののれん発生益	有価証券利息	役務原価
給料	旅費交通費	支払手数料	租税公課
有価証券評価損	のれん償却	支払利息	損益

1. 従業員に支給するため、業務用パソコン（現金購入価格：@￥ 190,000 ）10 台を割賦で購入した。代金は、今月末より月末ごとに支払期限が順次到来する額面 ￥ 400,000 の約束手形 5 枚を振り出して相手先に交付した。なお、利息相当額については、費用の勘定（支払利息）を用いて処理することとする。

2. 中野に拠点を築くためにブロードウェイ株式会社を吸収合併し、新たに当社の株式 1,500 株（合併時点の時価 @￥ 10,000 ）を発行し、これをブロードウェイ株式会社の株主に交付した。合併時のブロードウェイ株式会社の諸資産、諸負債は以下のとおりである。

・諸資産（簿価：￥ 40,000,000 、時価：￥ 42,000,000 ）
・諸負債（簿価：￥ 25,000,000 、時価：￥ 26,000,000 ）

また、合併にあたっては、取得の対価のうち 70%を資本金、残り 30%を資本準備金として計上することとした。

3. 長期にわたる取引関係を維持する目的で、中野サンロード株式会社が発行する普通社債（額面総額：￥ 5,000,000 、発行日：平成 28 年 4 月 1 日、満期までの期間：5 年、利払日：毎年 9 月と 3 月の末日、年利率：0.73%）を平成 28 年 12 月 9 日に額面 ￥ 100 につき ￥ 98.20 で購入し、前回の利払日の翌日から売買日までの端数利息（1 年を 365 日とする日割計算で算出し、収益の勘定を用いて処理すること）とともに、当社の普通預金口座から指定された当座預金口座に振り込んだ。

4. 人気 YouTuber の育成コンサルティングを行っている株式会社ネットラボは、以前に支払った給料・旅費交通費のうち、給料 ￥ 300,000 および旅費交通費 ￥ 100,000 が特定の案件のために直接費やされたものであることが明らかであったため、これらを仕掛品勘定に振り替えていた（適切に処理済み）。
本日、上記案件にかかるコンサルティングサービスの提供が無事完了し、対価として ￥ 600,000 が当座預金口座に振り込まれた。役務収益の発生にともない、対応する役務原価を計上することとした。

5. 決算にあたり、本店は支店より「当期純損失 ￥ 200,000 を計上した」との連絡を受けた。なお、当社は支店独立会計制度を導入しているが、支店側の仕訳を答える必要はない。

© 簿記検定ナビ（ http://www.boki-navi.com/ ）